寄稿

長崎大学FFG アントレプレナーシップセンターの紹介

長崎大学FFGアントレプレナーシップセンター
センター長・教授　山下 淳司（十八銀行 営業統括部付 出向）

はじめに

現在の長崎は、九州新幹線長崎ルート開業に向けた長崎駅前や株式会社ジャパネットホールディングスによるサッカースタジアム構想など大型開発が活発化する一方で、長崎市の人口減少が2年連続で全国の市町村のワースト一位になったり、三菱重工香焼工場の大島造船所への売却話が持ち上がり長崎における基幹産業の脆弱さが改めて浮き彫りになったりするなど、決してポジティブな状況ばかりではありません。

一部上場企業が一社も無い現状を含め長崎の産業界においては、雇用の確保や魅力ある新たな産業を作り出すための内発型ベンチャーの育成が急務となっています。そのような状況の中、十八銀行とふくおかフィナンシャルグループ（以下、ＦＦＧ）の経営統合を機に、ＦＦＧの寄附講座として、令和元年10月1日、将来の長崎における事業創出の教育拠点として長崎大学ＦＦＧアントレプレナーシップセンター（以下、ＮＦＥＣ）が開設されました。

英知の集積地である大学にはベンチャー創出に不可欠な研究シーズが多くあります。ＦＦＧとしては、長崎大学と連携することによって、そのシーズを活用した新産業を創出することで、将来にわたり長崎県経済の発展に貢献する地域金融機関本来の役割を果たしていく所存です。

長崎大学ＦＦＧアントレプレナーシップセンターについて

「アントレプレナーシップ」とは、事業創造や製品開発などに向けた高い創造意欲を持ち、積極的にリスクをとって挑戦していく姿勢、マインドなどを指す「起業家精神」を意味します。

弊センターの主なミッションは、先進的なイノベーション（付加価値の創造）教育・研究の機会を提供する「教育プログラム」を実践することにより、アントレプレナー人材を育成することと、大学が持つ研究シーズの事業化や商業化へ向けた「インキュベーションプログラム」の提供による「大学発ベンチャー（※）の創出」です。具体的な活動内容・特色については次の5つとなります。

①長崎大学全ての学部生・大学院生を対象として、体系的なアントレプレナーシップ教育プログラムを実施することにより、先進的な教育の機会を提供。

②大学における研究開発の成果である技術・知財の事業化・実用化を促進し、ベンチャー創出を支援するためのインキュベーションプログラムを実施。

③アントレプレナーシップ・イノベーションに関する研究およびそれらの教育手法に関する研究の実施。

④アントレプレナーシップやベンチャー創出に関心を持つ長崎県内の他大学・大学院生、高専生、社会人に対して、教育プログラムやインキュベーションプログラムへの参加機会を提供。

⑤アントレプレナーシップ、ベンチャー創出に関心を持つ地場企業、地方公共団体、他大学等に対する情報発信ならびに交流・連携の機会を提供。

（※）大学発ベンチャーとは大学の教官、学生、または公的試験研究所の研究成果を技術シーズとして事業化・創業を行う事業主体のこと。

■FFGアントレプレナーシップセンターの概要

名　称	国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構 FFGアントレプレナーシップセンター（NFEC）
形　式	㈱ふくおかフィナンシャルグループ寄附講座
実施期間	**準備期間：**2019年10月～2020年3月 **講座実施：**2020年　4月～（教育プログラム開講）
履修対象者	長崎大学全ての学部生および大学院生 他大学学部生および大学院生、高専生、社会人は科目履修生として受入れ予定
体　制	**センター長・教授：**山下淳司（FFG（十八銀行）からの出向） **教　授：**上條由紀子 （FFGと長崎大学のクロスアポイント・弁理士） **講　師：**数名…学内教員および学外専門家 （学外専門家についてはFFGより推薦） **事務スタッフ：**岡淑美（十八銀行からの出向） センター長・教授 山下淳司

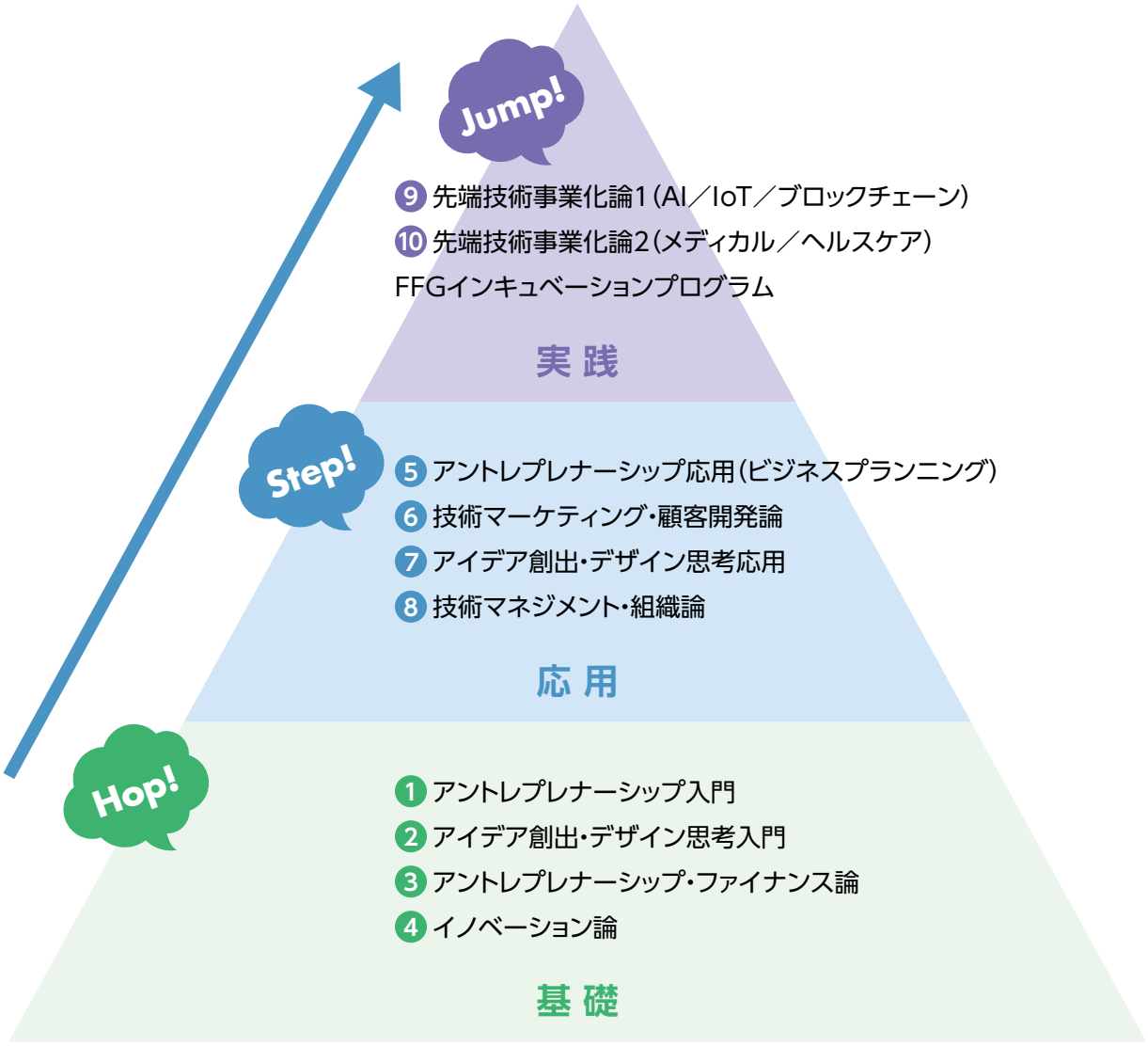
教育プログラムについて

これまでの時代は、大手企業に入社すれば一生安泰といわれるなど、良くも悪くも中長期的な予測が可能な時代でした。しかし、テクノロジーの進化による人工知能（ＡＩ）やＩｏＴ、ロボットなどに関する技術の大幅な進化により、社会やビジネスの複雑性はこれまで以上に増してきており、先行きが不透明となっています。

その意味で、ＮＦＥＣでは、この不確実な時代を乗り切るために、一線級のベンチャー起業家やベンチャーキャピタリストを講師に迎え、社会課題を解決することにより価値を創造していく専門的なアントレプレナーシップ教育を展開してまいります。

具体的には、２０２０年４月から、学部生や大学院生および社会人に対して、基礎、応用、実践の３段階で10科目（予定）の授業を展開し、体系的に「アントレプレナーシップ論」や「アイデア創出」、「イノベーション論」や「デザイン思考」から「技術マーケティング」に至るまで幅広い分野について、講義やワークショップ

■教育プログラム概念図（予定）



を通して学べるプログラムを提供してまいります。加えて単位や修了証明も付与する予定となっています。

これらの教育プログラムを通して、弊センターでは、次の5つの人材を育成してまいります。

①自立心、向上心を有し、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲を持った人材

②自らコントロールできない不確実な状況に面しても、変化を機会と捉えて活用できる人材

③多面的な視野、視座、視点をもって課題を発見し、解決するアイデアを創造し可視化できる人材

④研究開発の成果である技術を活かして、独創的な新事業コンセプトを創造できる人材

⑤経済の課題に対する解決策を探り、長崎を起点とした新しい価値創造を行って地域経済の発展に貢献できる人材

こういった人材は起業やベンチャービジネスのみならず、一般企業や官公庁にも必要であり、組織内での新規事業展開にかかる企画や運営、後輩や部下に対する指導においても、教育プログラムで学んだことは活かすことができると考えます。アントレプレナーシップは将来の日本社会を担う若手人材に求められる必須の要素だといえます。

インキュベーションプログラムについて

大学では、医歯薬や工学系を中心に様々な研究が行われており、基礎研究を含め、新たな技術シーズが生み出されている反面、ビジネスに活用できていないケースが多くあります。NFECでは、各学部を訪問し、技術シーズについてヒアリングを行い、既存の大学組織と連携しながら特許分析や市場調査などを行ったうえで、活用できる技術シーズや研究者と民間企業とのマッチングを行なうなど、FFGのベンチャーキャピタルである「FFGベンチャービジネスパートナーズ」や十八銀行、親和銀行との連携を活かした事業化支援を行うことで大学発ベンチャーの創出を目指しています。

インキュベーションプログラムとは、長崎大学の学生や教職員、企業経営者等と研究者とでチームを編成し、研究シーズを評価したうえで、ビジネスプランを構築していくものですが、具体的には技術シーズを選定し、教育プログラムと連携しながら、事業化支援（市場調査、特許調査、ビジネスモデル開発の支援等）を実施して、有望な案件については外部資金

長崎大学河野学長による開会挨拶
（2019年12月12日に長崎大学で開催されたキックオフシンポジウムにて）

■FFGインキュベーションプログラム（大学発ベンチャー創出に向けた取組み）

（※1）2020年4月新設

（※2）STARTプログラム（大学発新産業創出プログラム）
事業プロモーターと大学等の研究者をつなぎ、研究開発と事業育成を支援するJST（科学技術推進機構）のプログラム。

研究者にとってのメリット

- STARTプログラムや各種助成金への採択可能性が高まる。
- 事業化を行うベンチャー経営チームの組成が促進される。
- 研究シーズの市場調査・特許調査等を通じて、様々なフィードバックを得られる。

等を活用して投資を検討するものです。インキュベーションプログラムの実施によりスタートアップを支援し、長崎発のベンチャー創出を後押しして、新産業の創出や地域課題の解決を目指していきたいと考えています。

大学発ベンチャーとして有名なユーグレナ（東京大学）やサイバーダイン（筑波大学）等、大学の研究成果を基にした大学発ベンチャーの市場価値はここ数年大幅に上昇していますが、大学発ベンチャーから複数の上場企業が

FFG柴戸社長による挨拶（キックオフシンポジウムにて）

生まれ、その成功したベンチャー経営者が次世代のベンチャーを支援する好循環が生まれている事例もあります。このインキュベーションプログラムを通して、長崎から将来上場できるようなベンチャー企業を誕生させることができれば、長崎にこの好循環を構築することができ、大学はもちろん地域に資金還元ができるようになると考えます。

さいごに

長崎は、その風土や地域性により、江戸時代に唯一海外との交易の窓口であった「出島」があったこともあり、新しい思想、異なる文化の受け入れ、新しい事業や文化を創出し、外部と交流し新しいものを産み出すイノベーションを起こすポテンシャルがある地です。

看板を掲げる河野学長(左)と柴戸社長(キックオフシンポジウムにて)

そういったストーリー性があるからか、今、地元自治体や投資家、東京に本社を置く大手企業などが長崎に注目しています。

「出島」というキーワードがある長崎は特別な街だといえます。そこに集うそれぞれがヒト・モノ・カネによる手厚い支援により、人材育成や事業化への成長を促していく地域エコシステム(生態系)の構築が重要となります。

長崎でイノベーションを興し、アントレプレナーシップを育み、ベンチャー企業を創出する舞台は整いつつあります。NFECでは、それを行うプレイヤーを発掘して育てながら、エコシステムの構築にも注力し、長崎県の経済浮揚に貢献したいと考えています。

国立大学法人長崎大学
研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター

■住　所
〒852-8521
長崎市文教町1-14
文教キャンパス教育学部棟607号

■電　話
095-800-4121

■E-mail
ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

■担　当
山下・上條・岡